

第299回
株式会社テレビ新潟放送網
放送番組審議会

- 1 開催日時 平成25年6月24日（月）午前11時00分より
- 2 開催場所 テレビ新潟 会議室
- 3 委員総数 8人 出席委員6人

出席委員

豊口 協	委員長	大矢 純一	副委員長
佐野 晃之	委員	藤井 敬久	委員
田村 明子	委員	尾畑 留美子	委員

会社側出席者

代表取締役会長	前川 磐
代表取締役社長	室川 治久
専務取締役（営業・事業・編成担当）	永原 良太
取締役（報道・制作・国際担当）	水島 敏夫
編成局長 兼 放送番組審議会事務局長	竹石 尚史
報道制作局長	稲田 裕之

事務局

紫竹 聡子 水野 明子

4 議 題

1) 番組合評

「アピタ・ピアゴ・サークルK・サンクス presents

スター激走2000km！！中部★ゆめ弁当」

〔放送：平成25年6月16日（日） 15:00～15:55 放送〕

（説明：編成部）

2) 会社報告

- ・5月の視聴者の意見 (報告：番組審議会事務局)
- ・定例の報告等 (報告：番組審議会事務局)

3) その他

5 審議の概要（委員の意見）

会社側から、この番組は、中部地方の日本テレビ系列8社による共同制作、同時ネットで編成した番組であることが説明された。共同制作は、テレビ新潟はじめ、愛知、静岡、長野、石川、富山、福井、山梨各県の系列局8社が参加しており、1992年に当時放送していた朝の情報番組「ズームイン！！朝！」中部ブロックのネットワークを活用、各局の制作力アップをめざし企画されたもので、以来、年2回、夏と冬に中部地方を舞台とした旅やグルメ、生活情報など様々なテーマで放送。今回で、35作目の作品となる。本放送では、中部地方の各県が誇る旬の最高級食材をテーマに、極上のお弁当を作ろうと、スター錦野旦、お笑い芸人のCOWCOW（カウカウ）が、2つのルートに

分かれ、各県の系列局女性アナウンサーと中部地方の食文化を取材しながら、食育情報も伝えるという内容である。

中でも、新潟県では、錦野旦が TeNY の女性アナと、究極の卵焼きの食材として佐渡のひげ地鶏の卵を取材した。

●各地の「ゆめ食材」を発見しながら、身近な「お弁当」に食材を詰め込んでいくという情報発信の手法は、好感が持てた。

●画面の下に、キャプション風のコメントが出されていたが、番組のよいアクセントになっていた。

●食育で、「命を頂く」というメッセージが、松阪牛のコーナーにあったが、ファストフードに慣れた若い人達に「あたりまえ」のことを伝える大切さを感じた。

●佐渡の地元ではよく知られているひげ地鶏であるが、島外の方にも知って頂ける機会となり、嬉しく感じた。

●ゆめ弁当が完成し、弁当を食べるシーンがあったが、食事をした所が、あまり夢のある場所でなかったのが残念だった。

●軽トラックで激走する意味、ゆめ弁当にかける思い、こだわりが、あまりよく伝わってこなかった。

●佐渡のひげ地鶏のことは、よく知らなかったなので、地元の生産者の苦労などもわかって良かった。

●食育をテーマにしていたが、食育という視点での描き方が、やや足りなかったのではないか。

●地域の美味しいものを取りあげる特番はよくあるが、地元にはかわからないネタが多く、良かった。

●番組冒頭に織田信長が出てきたり、学校の食育授業にタレン

トが入ったり、長野の塩では、地元の村で歌舞伎をやっているということが紹介がされるなど、視聴者を飽きさせない工夫が、色々なところで見られた。出演する人達の好きなお弁当のおかずが、スーパーで出されていたのも工夫があって良かった。

●年配者に知られている錦野旦と若い人に知られているCOW COWのキャスティングは、幅広い世代に見てもらおうという意味では、良かった。

●元気が出るバラエティ、日曜午後に、気軽に見てもらおう番組としては、良かった。

●大分出身の錦野さんが、なぜ中部地方にこだわるのか、エピソードがあるとよかった。

●ゆめ弁当の食材を探しに行くと言いつつ、探した先で不採用というようなシーンはなく、予め選定されていた食材に到達するといった印象があった。

●つけあわせや、野菜のおかずなど、弁当全体にもっとこだわりがあってもよかった。

●番組内の地図では紹介があったが、これから発展が期待される北陸三県の食材ネタが全くなかったのは残念。

●タレントが、鶏にキスするシーンがあり、「良い子はマネしないでください」というスーパーテロップが入っていたが、鶏からの感染の報道もある中、違和感を感じた。

●卵焼きは、調理する過程の工夫も興味深いものである。食材を使って弁当を調理するシーンがもっと欲しかった。

●各局看板アナの競演だったが、佐渡の取材をした諸橋アナのインパクトや、安定感は特に印象的だった。

●弁当の食材は、どれも地元ならではの食材だったが、サーロイ

ンのミートボールや山塩などは普段は一般にはありえない。だから現実的でない弁当だったのだが、「ゆめ弁当」という期待感の中で、最後に出てきた弁当の映像が、よくある普通のイメージだったので、最終的には、もっと夢を与えてくれる弁当の形が見たかった。締めくくりが、やや中途半端な印象だった。

6 会社側の報告

1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

5月…… 161件。

2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会(平成25年5月27日)から昨日(平成25年6月23日)まで、総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置

1) 前回、第298回審議会では

「世界に刻め! グランセナ魂
～ジュニア国際大会の軌跡 in スペイン～」を審議いただきました。

委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。

2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧します。

8 今回の第298回放送番組審議会の公表

- 1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。
- 2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。
- 3) インターネットのTeNYホームページに議事概要を掲載します。

9 参考事項（委員への配布資料）

- ・ 5月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・ 5月の単発番組制作一覧
- ・ 民間放送新聞（5/23、6/3、6/13号）
- ・ BPO報告 No.124

以上